

後援会だより

第50号

令和6年9月17日発行
中国学園大学 後援会
中国短期大学
会長 土谷 由美子
〒701-0197
岡山市北区庭瀬83番地
TEL (086) 293-1100
FAX (086) 293-3993



時代に沿った支援に向けて

後援会会長 土谷 由美子

暑さ去りやらぬ昨今ですが、会員の皆様におかれましては日頃より中国学園大学・中国短期大学後援会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本会は、中国学園大学及び中国短期大学と会員相互との関係を一層緊密にし、協力して本学教育の振興を図ることを目的に組織しております。その会則に則り、会員の皆様からお預かりした会費をもとに、学生の福利厚生、生活指導、学生募集、就職活動などの支援事業を行っています。目的を達成するため会員の皆様に大学や学生生活の状況などをご理解いただき、学生の皆さんがより充実した大学での生活を過ごせるよう、様々な事業を展開しており、その支援活動にお預かりしました大切な後援会費を活用していきたいと考えております。

また、保護者等の皆様を対象に、年間事業計画や予算の審議、学修・就職などの報告を行う「後援会総会」並びに各科に分かれて行われる「学科別懇談会」の開催、保護者の皆様に中国学園大学・中国短期大学の取り組みや各科の取り組みを紹介する後援会だよりの発行、大学祭で役員における

後援会カフェを行っています。

今年度六月に行われた後援会総会並びに学科別懇談会には、より多くの保護者の皆様にご参加いただき、中国学園大学・中国短期大学の方々と活発な意見交換が行われ、皆様の悩みや不安の解消につながったのではないかと思います。

十月の大学祭では、後援会役員で後援会カフェを開催します。会員の皆様にはご息、ご子女の様子をみながら、子どもの母校はわが母校とカフェで役員との団欒を楽しんでいただけたらありがたいです。

中国学園大学・中国短期大学と後援会が緊密な協力体制を構築し、学生が本當に入學してよかつたと実感でき、目まぐるしく変化する時代の中、学生たちが自らの行動の結果として様々な新しい芽を携えて立派に社会に羽ばたき強く生きていける力をつけられるよう手助けできればと思います。

今後とも会員の皆様のご意見をいただきながら、学生のためにより良い会の運営に努めてまいります。今後とも会員の皆様におかれましてはこれまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年度第一回役員会

今年度第一回役員会が、六月二十二日(土)本学内で開かれ、総会への提出議題等が協議されました。提出議案は次のとおりです。

- 第一号議案 令和六年度役員を選任について
- 第二号議案 令和五年度事業報告及び決算について
- 第三号議案 令和六年度事業計画案及び予算案について
- 第四号議案 総会並びに学科懇談会の開催について

左記のとおり今年度役員が選任されました。

災害対策 助成事業について

講義中に災害発生したことを想定して、在学生全員に最低限必要な一日分の飲料水と食料等の防災備蓄品を設置しています。これは何もない卒業時に記念品として配付します。令和六年度新入学生分についても、後援会で支援しました。



帰宅困難者支援セット (3,726円)

令和6年度 中国学園大学・中国短期大学 後援会役員名簿

役職名	氏名	備考	
会長	土谷 由美子		
副会長	横上 美香	総生2年	
	岡 英司	栄養1年	
常任委員	中国学園大学	西川 しのぶ	栄養2年
		近藤 典子	栄養3年
		松尾 善江	栄養4年
		赤木 仁美	子ども1年
		花本 和子	子ども2年
	中国短期大学	尾池 美恵子	子ども3年
		島田 恵	子ども4年
		眞治 スサン	国際1年
		永元 裕子	国際3年
		古米 久美子	国際4年
監査委員	中国短期大学	島山 裕子	保育1年
		東 真由美	保育2年
		宮田 和俊	情報1年
		石井 恵美子	情報2年
監査委員	中国短期大学	上野 祥子	国際2年
		小林 尚美	総生1年



学長就任ご挨拶

学長 加賀 勝

前任の千葉学長に代わり、四月より中国学園大学長及び中国短期大学長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでの「後援会だより」を拝見しましたところ、本学への経済面での多大なご支援だけでなく、学生の文化的・体育的な諸活動に対しても物心両面のご支援をいただいていることがよくわかりました。学生生活指導、部活動等助成、学生食堂助成、広報活動助成、就職支援助成、施設等助成、災害対策助成など、多岐にわたるご支援をいただいています。これまで頂戴いたしましたご厚情に心より感謝申し上げます。

学園外からの就任ですので、簡単に履歴を書かせていただきます。出身は大阪市で、高校までを大阪市で過ごしました。大学は筑波大学で、体育専門学群、修士課程体育科学研究科コーチ学専攻、その後同大学の文部科学技官など、計八年を筑波大で過ごしました。

昭和六十一年に岡山大学教育学部に助手として着任し、講師、助教授、教授として令和五年度末の定年まで勤めました。専門はスポーツ科学（バイオメカニクス）、中心テーマは運動が身体に及ぼす影響及びコーチングです。平成二十二年から平成二十六年まで岡山大学教育学部部長、同大学院教育学研究科長及び教師教育開発センター長、平成三十年から令和五年度末まで岡山大学副学長・上席副学長などの管理的役割を果たしました。

ご承知の通り我が国は急激な少子高齢化と人口減少、経済的国際競争力に関する諸

課題、スマート社会や脱炭素社会への移行など、時代の大きな転換期を迎えています。大学としても十八歳人口が毎年一万人規模で減少し続け、大学進学率も頭打ちするなど、特に地方私立大学にとっての取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるといえます。

このような認識のもと、私は学長就任にあたり「地域の未来を共創する学園づくり」を標語として掲げました。学生と教職員が協働して充実した大学生を送るための教育環境を共に創り上げることで、学生から社会からの確かな信頼を得られる大学になることを目指しています。

本学の教学の理念である「自律創世」が示す通り、自分で考えて判断し、行動できる有為な人材を養成することが大学の使命です。専門的な知識と的確な情報収集に基づいて自ら考え判断できること、どのような状況にも対応できる汎用性の高い力を身に付けて地域社会の発展に貢献しようとする心構えを持つこと、これらをあわせもつた学生になつてほしいと思います。そのためにも大学が何をすべきか、今後とも後援会の皆様のご助言をいただきながら、そして何より学生の思いを汲みながら一緒に考えてすすめてまいります。これまでの通り地域に根差した大学として、地域とともに考えて行動すること、地域のありたい未来を共創する学園づくりをすすめたいたいと考えています。

後援会の皆様には、引き続き温かいご支援を賜れますようお願い申し上げます。

大学・大学院 短大の 近況報告

大学

現代生活学部

学部長

坪井 誠二

後援会の皆様には、日頃より本学部の教育に対しご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

令和六年四月二日の入学式では、希望に満ち溢れた新入生三十六人、編入生九人を迎えました。前期は、大学教育の導入科目であるファーストイヤーセミナーがあり、少しずつ大学生活にも慣れ、元氣一杯に頑張っています。二年生は、栄養セミナーⅡの菜園活動(写真)において、収穫した野菜を用いての料理コンテストを開催し、加賀学長先生にも来ていただき、試食の後学長賞を選んでいただきました。三年生は、栄養セミナーⅢの地域連携活動の料理教室や公民館活動などを活発に取り組んでいます。四年生は、無事に臨地実習を終え、学生それぞれが実習の成果を報告することができました。十月には四年生の卒業研究発表会も予定されております。我々教員一同、教育と学生支援に尽力して参りますので、今後ともご支援よろしくようお願い申し上げます。



子ども学部

学部長

中 典子

子ども学部子ども学科では、学童期の子どものことを理解した保育者、乳幼児期の子どものことを理解した教育者の養成めざし、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状の三つの資格・免許が同時取得できるようなカリキュラムを準備しています。また、子どもの暮らしについて理解した保育者・教育者養成のため、カリキュラムの中に子ども放課後の支援するための内容を盛り込み、放課後児童指導員資格が取得できるようにしています。



幼稚園教育実習報告会の様子

これらの資格・免許の取得を希望する学生は、二年生で学童保育実習、三年生で施設実習、保育所実習、幼稚園教育実習及び小学校教育実習を履修し、保育、教育の場で指導を受けました。実習終了後の報告会では学びを振り返りました。また、「教志会」の採用試験対策講座に参加し、令和四年度に引き続き、令和五年度も多くの学生が保育教諭採用試験、小学校教員採用試験に合格し、保育者・教育者として送り出すことになりました。学生たちの日々の努力が実つたように感じました。

国際教養学部

学部長

藤代 昇丈

国際教養学部はグローバル時代に活躍できる人材の育成を目指し、開設十年目を迎え、卒業生は六期生までが社会の各方面で活躍しています。

語学力とマネジメント力の育成を特色として三つのコースを設け、ゼミ活動等を通してきめ細かい指導をしています。佐々木公之ゼミの地域と連携したPBL(課題解決型学習)活動を踏まえた地域活性化アイデアは地方創

教員・職員一丸となった学生就活支援
「就職ガイダンス」の工夫と「就職支援学内相談会」の継続実施

新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行し、初めて就職支援になりました。本学卒業生の就職状況は、大学が九十七・四%、短大においては、一〇〇%となりました。これもひとえにご家庭との連携、支援のおかげであり、感謝申し上げます。

さて、六月二日の新聞記事では、「来春卒四割が就活終了 選考解禁、大手は『青田買い』中小、人材確保に苦戦」選考前倒し強まる 岡山でも人材奪い合い」という記事がありました。実際、本学への求人についても前年を上回る状況にありますし、就職支援センターでは、連日「進路相談、履歴書チェック等」の学生でにぎわっています。また、低学年の学生の利用もあり、将来を考えている学生も相談に訪れています。

採用ルールでは、六月一日から選考解禁となっています。しかし、この採用ルールは形骸化しているといえます。では、本学学生の支援をどうしていけばいいのか就職支援委員の先生方と検討しました。

そこで、本年度の就職ガイダンスを計画的及び効果的に実施する方策を考えました。そして、前期は、学部・学科の希望する時期に、希望する内容でガイダンスを実施するよう工夫しました。学部・学科により、専門職就職の多いこと



ると一般企業就職の多いところでは、ガイダンスを希望する時期・内容が変わってきます。それに対応することで、学生一人一人に必要な就活知識を支援することができます。なお、後期に全体で実施するガイダンスは、例年どおり、低学年にも案内をし、参加できるようにしています。(別表1)

次に、昨年図書館前で実施した「就職支援学内相談会」を発展させ、時間と場所を工夫して実施しました。(別表2) 目的は、次の三点です。①学生が就職支援センターの職員を知ることができ、就職支援センター利用促進になる②早くから学生の就職への意識が芽生え、職業観・勤労観の育成につながる③相談することにより、学生本人のコミュニケーション能力の育成につながる」です。

一人でも多くの学生が、これを活用して希望の就職ができることを期待しています。

最後に、保護者の皆様に七つをお願いを申し上げます。(別表3)「意思決定の際、誰かの助言や意見を聞いたか」というアンケート調査(別表4)によると、多くの学生が保護者の皆様と回答しています。ぜひ、学園と保護者の皆様とで、お子様の幸せな就職勝ち取りたいと思います。

多様な働き方も広がる中で、就職支援センターでは、一人一人の学生と向き合い、希望する進路に就けるよう、きめ細かいバックアップ体制と様々な取り組みに挑戦しています。お子様の就職に関わる相談は遠慮なく、ご連絡ください。

就職支援センター(直通)
〇八六二九三〇六七九
e-mail: recruit@cjac.jp

別表2 相談内容

就活をどのように進めていけば良いのかわかりたい、就職活動応援助成金について、7月のインターンシップフェアでは遅いのか、岡山県内で専門職として就職希望、保育園か幼稚園かで迷っている、私立保育園を考えている、資格を活かした仕事を考えたい、SEで探している、小学校教員を目指している試験勉強について、インターンシップに行かないといけないと思っている、岡山県小学校教員を目指す、志望動機をどう書けばいいのか、大阪で就職を考えている、病院の管理栄養士を希望、関東方面の保育園はどのように探したらよいか、観光、ホテル関係の就職を希望している、倉敷市の公立を希望している 他

別表3

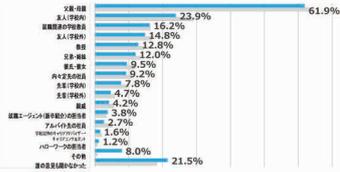
保護者の皆様に7つのお願い

- 1 前向きな行動には積極的な激励をしてください
2 長所をしっかりアドバイスしてあげてください
3 社会人の先輩として、保護者の経験を語って聞かせてあげてください
4 お子様の意思を否定したり、一方的な押し付けをしたりしないでください
5 過保護はやめて独り立ちさせてください
6 後ろ向きな発言をしないようにしてください
7 弱気なお子様へ甘い言葉をかけないでください

別表4

【2024年卒】学生調査

意思決定の際、誰かの助言や意見を聞いたか n=2,549



就職活動に関する意思決定には、保護者の助言が関わることが多い

出典: 11月2024年卒生調査結果速報 (2024年7月9日付)

別表1

2024年度 就職ガイダンス計画

Table with columns for date, time, and activities for 2024 and 2025. Includes events like 'Summer Work Research & Internship Fair' and 'Enterprise 1 Day Experience'.

2025年度 就職ガイダンス計画 (案)

Table with columns for date, time, and activities for the proposed 2025 plan, including 'Enterprise 1 Day Experience'.

info 事務局より

教務部

後援会の皆様におかれましては、平素より本学の教育活動にご理解とご協力をいただきまして大変感謝いたしております。

新型コロナウイルス感染症は昨年五月に「五類」へ移行し、現在もお感染の波はありますが、教育活動の実施に当たっては、マスクの着用は個人の判断に委ねております。

昨年度導入いたしました教務システム「UNIPA」により、学生、教員、職員間の情報共有がスムーズになりました。学生は自宅パソコンやスマホからシラバス検索、履修登録、出欠状況の確認、成績の閲覧や公欠申請などができます。大学や教員からのお知らせも表示されるので、毎日の確認が習慣化されてきたのではと感じております。また、今年度か

学修や行事、サークル活動を支援します！

らは学修サポートフォリオシステムを活用し、学生は自己の学修状況を記録することで学びを自律的に振り返り、確認・管理を行います。

教務部では、引き続き教育環境の充実、教務の質の向上に向けて努めていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

学生部

後援会の皆様には、平素より学生生活の充実に向けて多大なるご支援をいただきまして、深くお礼申し上げます。本学では、一昨年度の新コロナの「五類」への移行から、通常の大学キャンパスでの学修だけでなく、学外活動、部活・サークル活動、アルバイトなど学生たちは自由度の高い通常の大学生活を過ごしています。

部活動では、体育会バレーボール部はさらに強さを増しており、令和五年十二月に開催された岡山県大学バレーボール選手権大会では第一位に輝きました。女子ソフトボール部も四月に新たな監督を招聘し、全日本大学女子ソフトボール選手権大会中国地区予選で準優勝するとともに、八月に愛知県で開催された全国大会に出場いたしました。

サークル活動も、軽音楽などの文化系五団体、バスケットボールなどの体育系八団体で今しかない青春を謳歌しています。学生部では、これからも学生生活の質の向上に向けて努力を続け、この大学に通って良かったと言っていただけのようにサポートをしてまいります。今後、後援会の皆様のご支援とご理解のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

大学祭へのご案内

中国学園大学祭「第59回白鷺祭」を2024年10月12日(土)、13日(日)の2日間開催いたします。

本年度の白鷺祭は、「シン・シラサギ～episode59～」をテーマとし、今までよりもさらにリニューアルして新しい発想で白鷺祭を盛り上げようと実行委員会のメンバーが日々検討を重ねております。

白鷺祭では各サークル発表、学生の研究成果を発表する展示会、ビンゴ大会、各種模擬店など楽しい企画をたくさんご用意しております。

また「白洲 迅トークショー」やお笑い芸人のライブも行われます。新しい白鷺祭を通して、学生たちの情熱を感じていただけだと思いますので、皆様のお越しを是非ともお待ちしております。

大学祭で

『後援会カフェ』を出店します



今年度も大学祭に後援会役員による『後援会カフェ』を出店させていただきます。

飲み物はすべて無料で、ちょっとしたお菓子もお配りしています。大学祭へ足を運んでみませんか？大学の様子を見ることが出来る絶好の機会です。



後援会活動の展示や行事などで撮影された動画も会場にて上映します。

後援会カフェは10月13日(日)の1日のみ出店になります。時間は11時から15時までです。皆様のお越しをお待ちしています。

人間栄養学科1年生

青井みのりさんが中四国インカレ(水泳競技)優勝！

人間栄養学科1年生 青井みのりさんが、第55回中国四国学生選手権水泳競技大会兼第54回中国四国公立大学選手権水泳競技大会(中四国インカレ)において、女子100m自由形で見事優勝しました。

「今後は東京で開催される第100回日本学生選手権水泳競技大会に出場します。まずはベストを更新して過去の自分に勝つことを目標に、他種目・他距離にも積極的に挑戦して上位を狙ってまいります。」(青井さん)



表彰式の様子



先頭を泳ぐ青井さん



坪井学部長・青井さん・加賀学長記念撮影

女子ソフトボール部

第59回全日本大学女子ソフトボール選手権大会 第3位!!

中国学園大学女子ソフトボール部が2024年度インカレで3位となりました！女子ソフトボール部の皆さんおめでとうございます！



創設以来の快挙!!

<試合の結果>

第59回全日本大学女子ソフトボール選手権大会 第3位

1回戦	3-0	国士舘大学	2回戦	9-2	大阪青山大学
準々決勝	2-1	日本福祉大学	準決勝	1-5	中京大学

【監督就任あいさつ】

日頃より、ご支援ご声援ありがとうございます。この度、ご縁をいただきまして令和6年3月より監督を務めさせていただきます。中尾と申します。

私は、令和4年11月まで日本リーグに所属し選手として活動しておりました。指導者としては初心者のため、手探りではありますが、学生とのコミュニケーションを大切に、今までの経験を活かしながら日々練習に励んでおります。

本学では、グラウンドもあり何不自由ない環境で学生たちはソフトボールに取り組むことができます。この環境に感謝し、前監督が作り上げてきたチームの良いところを引継ぎ、よりよいチームに進化していけるよう努力してまいります。今後とも、よろしくお願申し上げます。



女子ソフトボール部監督 中尾 萌

第1表 令和5年度 収支決算 (令和5年4月1日～令和6年3月31日まで) (単位：円)

収 入 の 部					
費 目	予 算 額	流 用 額	決 算 額	差 異	備 考
繰越金	2,760,853		2,760,853	0	前年度会計から
入金	1,848,000		1,848,000	0	6,000×308名 (入学者+3年次編入者)
会費	10,584,000		10,584,000	0	24,000×441名 (入学者+3年次編入者+大学3年)
受取利息	47		40	△7	預金利息
計	15,192,900		15,192,893	△7	
支 出 の 部					
費 目	予 算 額	流 用 額	決 算 額	差 異	備 考
会議費	750,000		619,772	130,228	役員会3回 総会1会場 (岡山、福山地区合同で実施)
消耗品費	73,000		64,097	8,903	ファイル、ラベル用紙、封筒等
通信費	330,000		239,731	90,269	振込手数料、切手、葉書代、後援会だより発送代
会誌発行費	210,000		155,760	54,240	後援会だより第49号 1,200部等
助成費	12,212,000		11,507,998	704,002	*助成費の内訳
* 学生生活指導費	2,530,000		2,530,000	0	各学科学生生活指導費 2,500円×1,012名分
* 部活動等助成費	900,000		629,710	270,290	大学祭援助金 200,000円、大学祭警備経費 248,710円 女子ソフトボール部全国大会遠征費の補助 170,000円
* 学生食堂助成費	1,000,000		882,700	117,300	学生健康サポート (朝食無料提供) 632,700円 学食利用補助等 250,000円
* 広報活動助成費	1,100,000		1,099,910	90	オリジナルQUOカード500円×1,654枚
* 就職支援助成費	600,000		284,598	315,402	就職ガイダンス参加日誌用ファイル (大学3年、短大1年) 73,430円 就職活動用 山羊革名刺入 1色名入れ300個 105,270円 就活本 105,898円
* 施設等助成費	5,000,000		5,000,000	0	プロジェクター更新等
* 災害対策助成費	1,082,000		1,081,080	920	防災備蓄品 帰宅困難者支援セット 3,510円×308個 (新1年生・新3年次編入生分)
予備費	1,617,900		0	1,617,900	
計	15,192,900		12,587,358	2,605,542	

* 助成費の内訳

収入額合計	15,192,893
支出額合計	12,587,358
収支差額 (次年度へ繰越額)	2,605,535

第2表 令和6年度 収支予算 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) (単位：円)

収 入 の 部				
費 目	予 算 額		差 異	備 考
	令和6年度	令和5年度		
繰越金	2,605,535	2,760,853	△ 155,318	前年度会計から
入金	1,662,000	1,848,000	△ 186,000	6,000×277名 (新入学生+3年次編入生)
会費	9,852,000	10,584,000	△ 732,000	24,000×410名 (新入学生+3年次編入生+大学3年生) 12,000×1名 (短大2年次再入学生)
受取利息	35	47	△ 12	預金利息
計	14,119,570	15,192,900	△ 1,073,330	
支 出 の 部				
費 目	予 算 額		差 異	備 考
	令和6年度	令和5年度		
会議費	750,000	750,000	0	役員会 年3回 (5月・10月・3月)、後援会カフェ運営費 総会1会場 (保護者会岡山・福山地区合同)
消耗品費	70,000	73,000	△ 3,000	ファイル、ラベル、封筒代等
通信費	250,000	330,000	△ 80,000	総会案内発送、後援会だより発送、振込手数料、葉書、切手代
会誌発行費	160,000	210,000	△ 50,000	後援会だより発行
助成費	11,753,000	12,212,000	△ 459,000	*助成費の内訳
* 学生生活指導費	2,305,000	2,530,000	△ 225,000	各科 学生生活指導費 2,500円×922名
* 部活動等助成費	900,000	900,000	0	各種体育大会出場への援助、大学祭援助等
* 学生食堂助成費	1,000,000	1,000,000	0	学生健康サポート (朝食無料提供)、学食利用補助等
* 広報活動助成費	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	学生募集 名入れグッズ作成
* 就職支援助成費	500,000	600,000	△ 100,000	就職支援助成
* 施設等助成費	5,000,000	5,000,000	0	プロジェクター更新、学内整備等
* 災害対策助成費	1,048,000	1,082,000	△ 34,000	新入学生・新3年次編入生 (281人) 防災備蓄品 帰宅困難者支援セット (1日分) 3,726円
予備費	1,136,570	1,617,900	△ 481,330	慶弔費等
計	14,119,570	15,192,900	△ 1,073,330	

* 助成費の内訳

学校法人
中国学園役員

保育学科長 土田 豊
情報ビジネス学科長

◎事務局

五百竹宏明

理事長 中島 義雄
副理事長 古矢 博通
理事 加賀 勝

事務局長 阿藤 俊二
事務部長 片山 明浩
総務企画課長 三宅美恵子

監事 稲葉 英男
見島 正典
村上 悦雄

経理課長 難波 宏明
教務部長 齊藤 佳子
教務課長 濱崎 美紀
学生部長 佐々木公之
学生課長 村松 敬生

中国学園大学

学長 加賀 勝
副学長 住野 好久

就職支援部長 山口 裕行
就職支援部次長 北島 葉子

現代生活学部長 井之川 仁

就職支援課長 山根 康史
図書館長 板野 敬吾

人間栄養学部長 坪井 誠二

図書課長 平井 安久
情報処理センター長 萩崎 直子

子ども学研究科長 多田 賢代

情報処理センター長 古谷 俊爾
IRセンター長 小林 英紀

子ども学部長 佐々木弘記
子ども学部長 中 典子

語学教育センター長 藤代 昇丈
情報教育センター長 藤代 昇丈

国際教養学部長兼学部長 中田 周作

地域支援センター長 岸 誠一
藤代 昇丈

中国短期大学
学長 加賀 勝
副学長 住野 好久

たねのくまも園
園長 河原 智美
副園長 松本 理子

総合生活学部長 韓 在都

(令和6年8月7日現在)

創立60周年記念事業について

令和4年度に学校法人中国学園が創立60周年を迎え、後援会はこのたび創立60周年記念事業として、令和4年5月に270万円、令和4年11月に1,230万円の寄付を行い、学内の環境整備を行いました。令和5年11月以降に実施した内容について報告させていただき、これで創立60周年記念事業として計画したことが、すべて完了したことをご報告させていただきます。

〈1号館エントランスロビーの整備〉

1号館エントランスロビーに設置している備え付けのソファに合うように、古いテーブルと椅子は撤去し、新しくテーブルと椅子を設置し、令和5年11月に完成しました。



〈学内防犯カメラの追加設置〉

すでに南門と西門に向けて防犯カメラを設置していますが、学生の安心安全のため、さらに7台の防犯カメラを追加し令和5年11月に設置が完了しました。

新設置場所：12号館前、9号館前、体育館更衣室前、体育館1Fロッカー室前、3号館西側通路、9号館ゴミステーション、10号館



令和5年度事業報告

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R5.6.24(土)	岡山・福山地区合同	本学(12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、学部・学科情報、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、各学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R5.6.10(土) R5.6.13(火)	本学内	監査委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R5.6.24(土)	本学内	令和4年度事業及び決算協議 令和5年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R5.10.14(土) 10:00~11:00	本学内	令和5年度予算中間報告
後援会模擬店準備『後援会カフェ』	R5.10.14(土) 11:00~	本学内	大学祭1日目 役員会終了後『後援会カフェ』準備
後援会カフェ	R5.10.15(日)		大学祭2日目 後援会模擬店『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R6.3.9(土)	本学内	令和5年度予算執行状況、令和5年度行事報告、次年度実施計画等

3. 広報活動

- (1)広報誌「後援会だより」第49号の発行
体裁：A4版8ページ カラー印刷
発行年月日 令和5年9月 発行部数：1,200部
配付先：全保護者等・教職員・後援会役員等※郵送にて配付
- (2)後援会HPについて 令和5年9月、令和5年12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- (1)学生生活指導助成事業
- (2)部活動等助成事業
- (3)学生食堂助成事業
- (4)就職支援助成事業
- (5)広報活動助成事業
- (6)施設等助成事業
- (7)災害対策助成事業

令和6年度事業計画

1. 総会及び学科別懇談会

開催日	地区別	会場	摘要
R6.6.22(土) 10:30~13:30	岡山・福山地区合同	本学(12号館)	【総会】予算、決算及び事業計画等協議、学部・学科情報、就職情報等 【学科別懇談会】総会終了後、各学科ごとに保護者等の方と学部・学科長をはじめ教員との懇談

2. 会議等

会議名	開催日	会場	摘要
会計監査	R6.6.6(木) R6.6.9(日)	本学内	監査委員2名、会計監査の実施
第1回役員会	R6.6.22(土) 9:15~10:00	本学内	令和5年度事業及び決算協議 令和6年度事業計画案及び予算案協議
第2回役員会	R6.10.12(土) 10:00~11:00	本学内	事業及び予算執行状況協議 就職情報と内定状況について 大学祭見学（後援会カフェ準備後自由見学）
後援会模擬店準備『後援会カフェ』	R6.10.12(土) 11:00~		大学祭1日目 役員会終了後『後援会カフェ』準備
後援会カフェ	R6.10.13(日)	本学内	大学祭2日目 後援会模擬店『後援会カフェ』を出店
第3回役員会	R7.3.8(土)	本学内	決算見込報告

3. 広報活動

- (1)広報誌「後援会だより」第50号の発行
体裁：A4版8ページ カラー印刷
発行年月日 令和6年9月 発行部数：1,100部
配付先：全保護者等・教職員後援会役員等※郵送にて配付予定
- (2)後援会HPについて 令和6年9月、令和6年12月に後援会の活動について更新

4. 助成事業（主な事業）

- (1)学生生活指導助成事業
- (2)部活動等助成事業
- (3)学生食堂助成事業
- (4)就職支援助成事業
- (5)広報活動助成事業
- (6)施設等助成事業
- (7)災害対策助成事業

後援会総会並びに
学科別懇談会を開催

総会

今年度は、六月二十二日(土)に本学を会場として、総会並びに学科別懇談会を開催することができました。八十七名の保護者等が参加し、左記の議案について協議され、すべての議案は承認されました。

- 第一号議案 令和六年度役員会の選任について
- 第二号議案 令和五年度事業報告及び決算について
- 第三号議案 令和六年度事業計画案及び予算案について

大学の状況報告として、事務部からは、創立六〇周年記念事業として後援会からいただいた寄付金について、令和五年十一月以降に実施した内容として、創立六〇周年記念事業として計画したことが、すべて完了したことを報告させていただきました。その他にも朝食無料サポートについて昨年度実施した内容について報告させていただきました。

教務部からは今後の授業や試験等の日程についてと教務システム(UNIPA)について説明が行われ、学生部からは学生部関連の行事についてや、奨学金等やサークル活動等の紹介をしました。

就職支援部からは就職支援状況や求人状況、就職ガイダンスの状況、インターンシップの重要性や保護者等の皆様へのお願い等、保護者等の皆様は熱心に聞いてくださいました。

今年度は保護者等の皆様から、中国学園に対してご質問やご意見を多数いただき、相互理解が深まったのではないかと思います。これからも中国学園は学生ファーストで様々なことに取り組んでいきたいと思います。

学科別懇談会

総会終了後は各学部・学科へ分かれて移動し、学科別懇談会を開催いたしました。

保護者等の方と直接お話をさせていただき、学生の様子や、保護者等の方の要望などお聞きすることができ、非常に有意義な会となりました。後援会活動へいただいたご意見につきましては、今後の役員会で検討させていただきます。この度、ご参加くださいました保護者等の皆様には、感謝を申し上げます。

